

中国四国地域における認定事業計画について(平成27年11月)

平成27年11月30日

認定した総合化事業計画(232件)については、対象農林水産物として野菜(27%)が高く、他地域に比べ水産物(14%)の割合が高い。

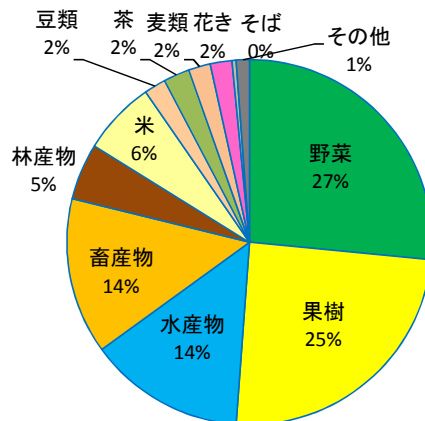
県名	総合化事業計画														研究開発・成果 利用事業計画	農林漁業 成長産業化 ファンド		
	認定件数(累計)		今回の認定計画に使用する農林水産物(注1)												認定件数 (累計) (注2)	認定件数 (累計) (注2)		
	(注3)	今回の 認定数	野菜	果樹	米	麦類	豆類	畜産物	林産物	水産物	茶	そば	花き	その他				
鳥取	20																	
島根	13																	
岡山	47	2		2													1	2
広島	29																	4
山口	22																1	1
徳島	29																	1
香川	19																	
愛媛	27																	4
高知	26																	
計	232	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	12

注1 複数の農林水産物を使用する事業者があるため、認定数と使用する農林水産物の合計数は合致しない。

注2 研究開発・成果利用事業計画及び農林漁業成長産業化ファンドの認定件数は、総合化事業計画認定件数の外数である。

注3 総合化事業計画認定件数(累計)は、事業実施期間が終了した認定を含む。(ただし、事業を取り止めた認定は除く。)

今回までの対象農林水産物の割合



六次産業化・地産地消法に基づく認定総合化事業計画一覧
 (平成27年11月認定)

平成27年11月30日

No.	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
1	自社生産した岡山甘栗を原材料にした「むき栗・焼き栗」の製造販売	平成27年4月に、岡山甘栗(注)の生産から加工・販売を行う目的で有限会社アグリマスターを設立。 本事業では、岡山甘栗の「渋皮が剥き易い」、「甘みが豊か」といった特徴を生かした「むき栗」及び「焼き栗」の製造・販売を行い、生栗よりも付加価値の高い加工食品の事業化に取り組み、売上向上と年間を通した収入の安定化を目指す。 (注:岡山1号、岡山2号、岡山3号を総称し岡山甘栗と呼んでいる。)	有限会社 アグリマスター			岡山県	勝央町
2	自らが栽培したぶどうと桃を対象とした新販売方式の導入	自ら栽培する桃・ぶどう等を自宅で直売することで、系統出荷に頼らない経営体の構築をすすめてきたが、無店舗での販売では売上向上が難しい状況となっていた。 本事業では、新たな顧客を獲得するために直売所を建設し、お土産や進物用等、高級果実を販売する店舗として、一般の直売所とは一線を画した店舗を目指し、売上の向上、収益の安定化を図る。	市川俊美			岡山県	岡山市